

トレーディア株式会社

第94期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

株主の皆様へ



代表取締役社長  
吉田 大介

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第94期（2024年3月期）中間期の連結業績と取組状況についてご報告申し上げます。

物流を取り巻く環境はグローバル化、多様化によりめまぐるしく変化しており、より質の高いロジスティクス・サービスが求められています。

このような事業環境の変化に対応するため、経営基盤の強化を図るとともに、当社グループの持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

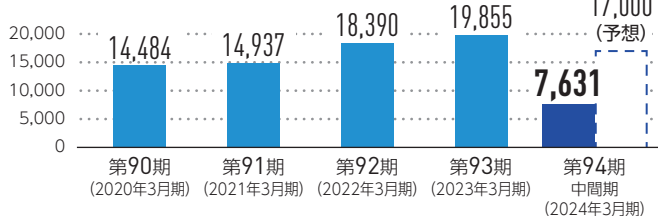
当社の企業使命である「国際物流業務を通して世界の産業とくらしに貢献する」を念頭に、トレンドを先取りし、それぞれのお客様のご要望に沿った物流の最適化・効率化をご提案してまいります。

今後とも、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

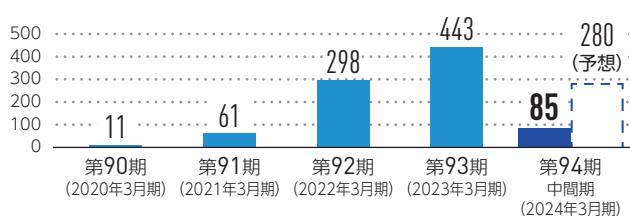
2023年12月

連結財務ハイライト

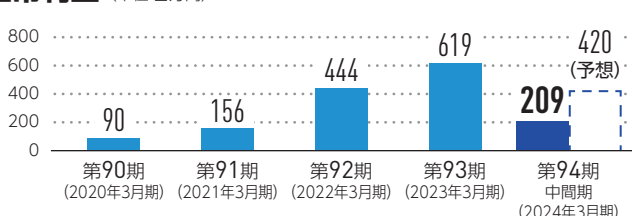
営業収入 (単位:百万円)



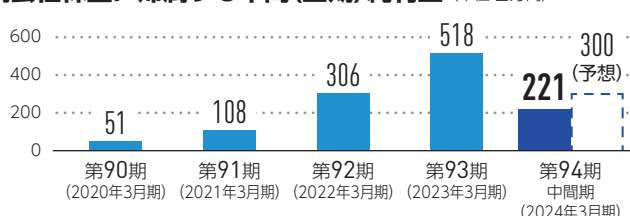
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (単位:百万円)



## 事業の経過及びその成果

当中間期におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化を反映し、インバウンドの復調、外食や旅行などのサービス消費の高まりが見られる等、緩やかな回復基調が続きました。その一方で、円安の影響による物価高騰や、ウクライナ情勢の長期化、中国経済の減速、各国の金融引き締めによる外需の低迷により、先行き不透明な状況が継続すると考えられます。

当社グループを取り巻く環境としては、外需低迷や物価高騰による消費者の節約志向等の影響により、取扱量は低調な推移となりました。また、国際物流を担うコンテナ船による海上輸送においては、昨年の秋口以降の需給の緩みから、運賃が大きく下落しております。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期比5.9%減少し、国際部門の運賃の大幅な下落もあり、営業収入は前年同期比26.4%減の76億31百万円余（対前年同期27億39百万円余減）、営業総利益は前年同期比22.2%減の4億68百万円余（対前年同期1億33百万円余減）となりました。営業損益は、前年同期比61.1%減の85百万円余の利益（対前年同期1億34百万円余減）、経常損益は、持分法による投資利益が減少したことなどにより前年同期比40.8%減の2億9百万円余の利益（対前年同期1億44百万円余減）となりましたが、特別利益として投資有価証券売却益1億9百万円余を計上したため、親会社株主に帰属する中間期純利益は、前年同期比10.0%減の2億21百万円余（対前年同期24百万円余減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

### ①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨の取扱いが増加し、化学工業品と機械機器製品の減少幅に改善が見られたため、取扱量は前年同期比で微増となりました。しかしながら、自社倉庫での取扱量や取扱件数が前年同期比で減少したため、収益性が悪化し、輸出部門の営業収入は前年同期比6.1%減の12億51百万円余（対前年同期81百万円余減）、セグメント損失46百万円余（前年同期はセグメント損失30百万円余）となりました。

### ②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品、繊維製品の取扱いが増加し、雑貨の減少幅に改善が見られたものの、取扱量は前年同期比3.7%減少となりました。取扱件数は前年同期比で微増となりましたが、取扱量の減少を補うに至らず、輸入部門の営業収入は前年同期比2.3%減の25億22百万円余（対前年同期58百万円余減）、セグメント損失27百万円余（前年同期はセグメント損失1百万円余）となりました。

### ③国際部門

国際部門におきましては、運賃水準が前年同期比で大幅に下がっていることや、取扱量が前年同期比12.4%減少となったことから、営業収入は減収となりました。輸出においては、航空便案件や設備案件の減少、北米市場の在庫調整に伴う三国間輸送が低調であったこと、輸入においては、航空便案件の減少、在庫調整による取扱量の減少が減収要因となりました。その結果、営業収入は前年同期比40.8%減の37億70百万円余（対前年同期25億97百万円余減）、セグメント利益は前年同期比41.2%減の1億29百万円余（対前年同期90百万円余減）となりました。

### ④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同期比9.3%減の27百万円余（対前年同期2百万円余減）となりました。セグメント利益は前年同期比11.6%減の24百万円余（対前年同期3百万円余減）となりました。

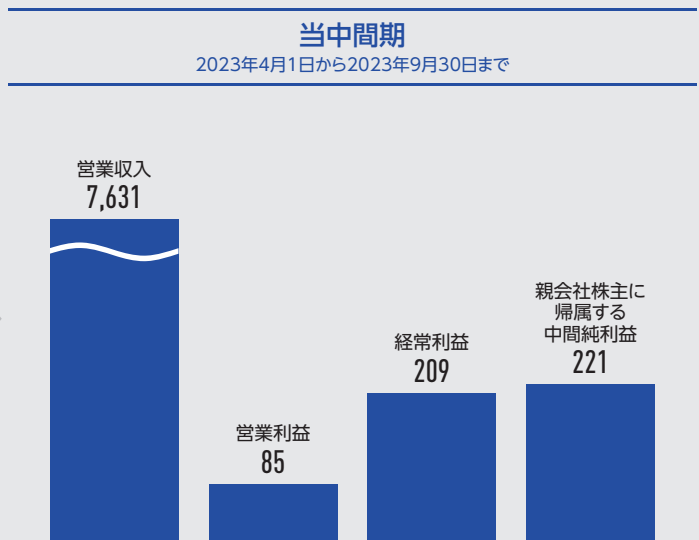
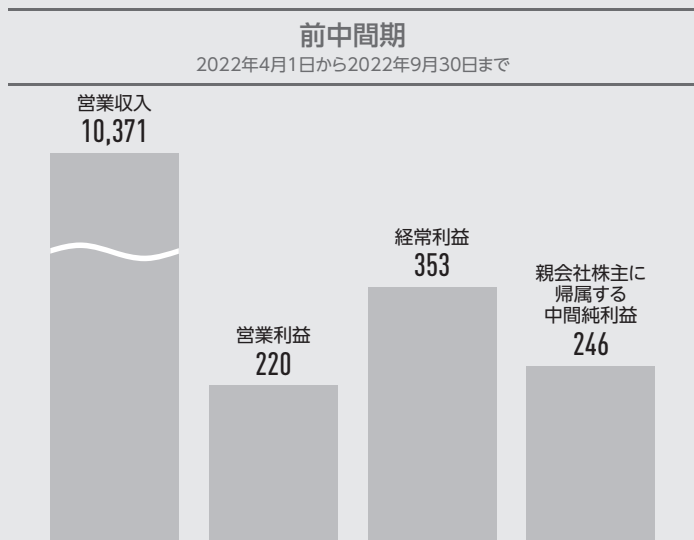
### ⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比0.7%増の61百万円余となり、セグメント利益は前年同期比48.9%増の5百万円余となりました。

今後とも、業績向上に全力で取り組み、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 中間連結財務諸表（要約）

### 中間連結損益計算書のポイント（単位：百万円）



（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 新入社員フォローアップ研修

本年10月下旬、2023年度新入社員が半年の節目に本社に集まり、入社後フォローアップ研修を開催いたしました。

外部講師を招き、「報連相」などの職場のコミュニケーションやビジネスマナーなど基本的なスキルを学び直すことで、入社からこれまでに経験したことや自分の行動を振り返り、自身の成長が実感でき、課題や改善点を確認することができました。また、一人ひとりが新たな目標を見つけ、それに向かって邁進していくためのきっかけにもなりました。



### 実務研修（安全保障貿易管理制度）

本年10月上旬、本社・支店をリモートで繋ぎ、実務研修（安全保障貿易管理制度）を開催いたしました。経済安全保障推進体制が強化され、さらなる輸出貨物の取締まりの適正化が進んでいるなか、私たち通関業者においても、適正な輸出通関手続きが求められています。今回の研修では、安全保障貿易管理制度の概要、輸出貿易管理令・外国為替令における規制対象物品を取扱う際の注意点を確認いたしました。

これからも、実務に活かすことができるようなテーマを選別して、社員一人ひとりおよび組織としてのスキルアップを目指して、継続的に学ぶ機会を用意していきます。

### 株主様向けアンケートの開始

この度、当社は株主様向けアンケートを開始いたしました。

以下よりアクセスしていただき、是非ご意見をお聞かせください。アンケート回答の所要時間は1～2分程度です。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>    **アクセスキー** XXXXXXXXXX

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

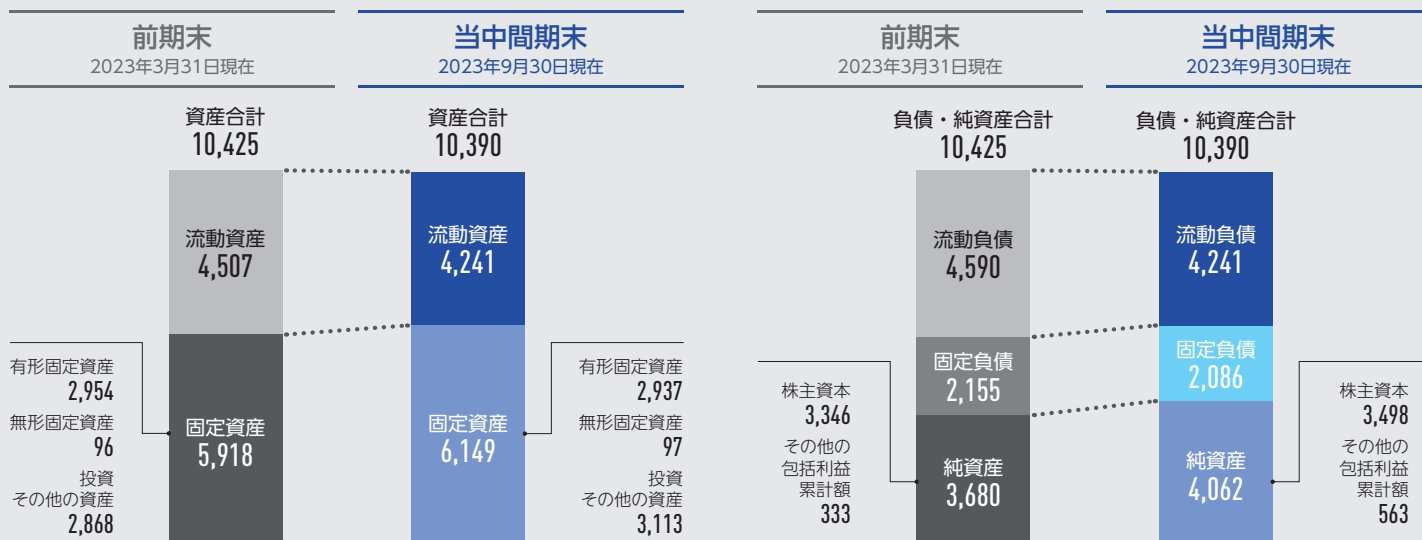
# コエキク

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社アソソウェアの登録商標です。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

### 中間連結貸借対照表のポイント（単位：百万円）



（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



■ 会社概要

商号 トレーディア株式会社  
 所在地 神戸市中央区海岸通1丁目2番22号  
 設立年月日 1941年4月1日  
 代表者 代表取締役社長 吉田大介  
 従業員数 324名  
 営業種目 1.港湾運送業 2.通関業  
 3.普通倉庫業 4.貨物利用運送業  
 5.運送代理店 6.損害保険代理業  
 7.不動産賃貸 8.前各号に関連する一切の事業  
 主要取引銀行 みなと銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行

■ 事業拠点

関西 本店 神戸支店 大阪支社 六甲物流センター  
 摩耶埠頭倉庫 P.I.L15上屋 神戸西物流センター  
 大阪営業所(築港倉庫) 南港Q1上屋  
 東海 名古屋支店 潮風物流センター 名四倉庫  
 関東 京浜支店 東京港営業所(城南島物流センター)  
 大井海貨上屋2号棟 横浜営業所(新山下倉庫)

■ 株式の状況

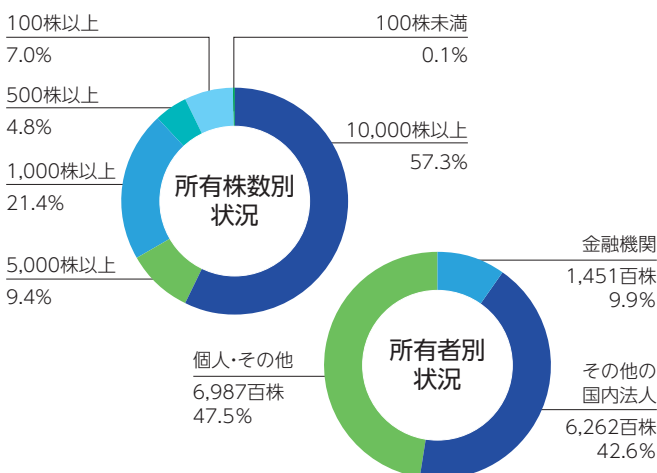
発行可能株式総数 ..... 5,400,000株  
 発行済株式の総数 ..... 1,470,000株  
 株主数 ..... 1,105名

■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
トランコム株式会社	1,422	9.7
トレーディア株式会社社員持株会	918	6.3
株式会社みなと銀行	727	5.0
大豊運輸倉庫株式会社	700	4.8
日本郵船株式会社	687	4.7
三菱UFJ信託銀行株式会社	667	4.5
日本製麻株式会社	569	3.9
丸正株式会社	500	3.4
垂水 邦明	269	1.8
株式会社シンワ・アクティブ	250	1.7

(注1) 持株数は百株未満を切り捨てて表示しています。  
 (注2) 持株比率については、自己株式数(3,761株)を控除して算出し小数第2位を四捨五入して表示しています。

■ 株式分布状況



■ 役員

代表取締役	会長執行役員	古郡 勝英
代表取締役	社長執行役員	吉田 大介
取締役	常務執行役員/京浜支店長	嶋津 清仁
取締役	執行役員/海外統括本部長	堀木 靖之
取締役	執行役員/営業統括本部長 兼 大阪支社長	羽澤 哲朗
取締役	(社外取締役) 監査等委員	丸山 英聡
取締役	(社外取締役) 監査等委員	中弥 和美
取締役	(社外取締役) 監査等委員	菊池正八州
常務執行役員	名古屋支店長	横山 直幸
上席執行役員	神戸支店長 兼 大阪営業所長	森田 勝徳
執行役員	財務本部長	茨木 信弘
執行役員	総務本部長	小林 英之

■ 株主メモ

決算期 毎年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会において、権利を行使すべき株主様は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様とします。  
 公告方法 電子公告  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 ☎0120-094-777

1単元の株式数 100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

さまざまな情報をホームページを通じて皆様が発信しております。



<http://www.tradia.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。